

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	Haccii 8 0 8		
○保護者評価実施期間	令和8年1月19日		～ 令和8年2月6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	令和8年1月19日		～ 令和8年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	医療的ケア児への対応力	看護師が多く在籍しており、定期的なミーティングによって情報共有とケア方法の見直しを随時行っています。個による対応とチームとしての対応を、状況によって使い分けることでより安全度の高い場所となるよう努めています。	外部機関での研修の積極的な参加や事例共有を通じて専門性の向上を図ります。また、主治医や訪問看護事業所、学校等の関係機関との連携をより一層強化し、緊急時を含めた支援体制の確認と見直しを継続します。
2	チーム体制での療育プログラムの実施	児発管と児童指導員が中心となり、個別性に合わせた療育を実施しています。活動内容について、事前に周知を図ることで目的・意図を意識したうえで支援に繋がっています。	療育や領域に合わせた支援等についての研修を進めることや、利用者の支援についての情報共有などのミーティングの頻度を挙げることで支援の質を向上させていきます。
3	職員のフットワークの軽さ	各職員が柔軟な発想を持ち、「やってみよう」と思ったことがこれまで実現に繋がっています。一人の発想の実現のために、皆でアイデアをさらに出し合える環境となっています。	職員間でのミーティングの頻度を上げ、意見の集約できる機会を多く持ちます。また、保護者アンケートを実施し、保護者の求めることに対して議論し、実現してニーズに応える姿勢を構築します。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用頻度など、ニーズへの対応	利用定員の都合からたくさんの利用希望をいただいても、お断りやキャンセル待ちをお願いすることが多くなっています。また車両台数や職員の都合により、送迎を保護者様にお願いをする場面がありました。	利用頻度についてはやはり定員の制限があるものの、キャンセルがあった際にはすぐに連絡をしたり、空きのある別日を提案するなどして利用日を多くできるように働きかけをしていきます。
2	集団活動の時間の確保	学校終業後の限られた時間の場合、集団活動の時間を長く取ることは難しく、短い集団活動と個別活動となることがたびたびあります。	活動時間確保のために、タイムスケジュールの見直しを行い、効率的な動きとすることで、少しでも多くの活動時間を捻出します。
3			